

インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第21作成期 (2022年5月27日から2022年11月28日まで)

第 121 期 / 第 122 期 / 第 123 期
決算日2022年6月27日 決算日2022年7月26日 決算日2022年8月26日

第 124 期 / 第 125 期 / 第 126 期
決算日2022年9月26日 決算日2022年10月26日 決算日2022年11月28日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2027年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 Kインドア・インカム・ファンド (クラスG) 主に米ドル建てのインドの債券等 コタック・フレクシー・デット・ファンド (クラスA) 主にインドルピー建てのインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つコタック・マヒンドラ・グループが行います。 ■原則として、対円で為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

インド債券ファンド（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 入 率 証 券 組 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
97期 (2020年 6月26日)	4,420	40	2.2	97.0	45,699
98期 (2020年 7月27日)	4,451	40	1.6	96.3	44,891
99期 (2020年 8月26日)	4,452	40	0.9	96.4	44,020
100期 (2020年 9月28日)	4,432	40	0.4	96.3	42,797
101期 (2020年 10月26日)	4,419	40	0.6	95.5	41,686
102期 (2020年 11月26日)	4,436	40	1.3	96.5	39,775
103期 (2020年 12月28日)	4,423	40	0.6	96.5	38,313
104期 (2021年 1月26日)	4,430	40	1.1	95.0	37,883
105期 (2021年 2月26日)	4,496	40	2.4	96.6	37,375
106期 (2021年 3月26日)	4,568	40	2.5	92.2	36,425
107期 (2021年 4月26日)	4,350	40	△3.9	95.7	33,825
108期 (2021年 5月26日)	4,517	40	4.8	96.0	34,066
109期 (2021年 6月28日)	4,506	40	0.6	97.2	32,481
110期 (2021年 7月26日)	4,460	40	△0.1	96.5	31,495
111期 (2021年 8月26日)	4,433	40	0.3	96.1	30,600
112期 (2021年 9月27日)	4,463	40	1.6	95.1	30,140
113期 (2021年 10月26日)	4,444	40	0.5	94.6	29,400
114期 (2021年 11月26日)	4,519	40	2.6	97.2	29,122
115期 (2021年 12月27日)	4,427	40	△1.2	97.2	27,806
116期 (2022年 1月26日)	4,373	40	△0.3	95.2	27,108
117期 (2022年 2月28日)	4,337	40	0.1	96.4	26,585
118期 (2022年 3月28日)	4,446	40	3.4	96.7	26,886
119期 (2022年 4月26日)	4,588	40	4.1	97.2	27,231
120期 (2022年 5月26日)	4,453	40	△2.1	97.2	25,829
121期 (2022年 6月27日)	4,613	40	4.5	95.9	26,512
122期 (2022年 7月26日)	4,571	40	△0.0	96.9	26,170
123期 (2022年 8月26日)	4,567	40	0.8	95.8	25,895
124期 (2022年 9月26日)	4,589	40	1.4	96.1	25,457
125期 (2022年 10月26日)	4,626	40	1.7	96.3	25,489
126期 (2022年 11月28日)	4,433	40	△3.3	96.7	24,309

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

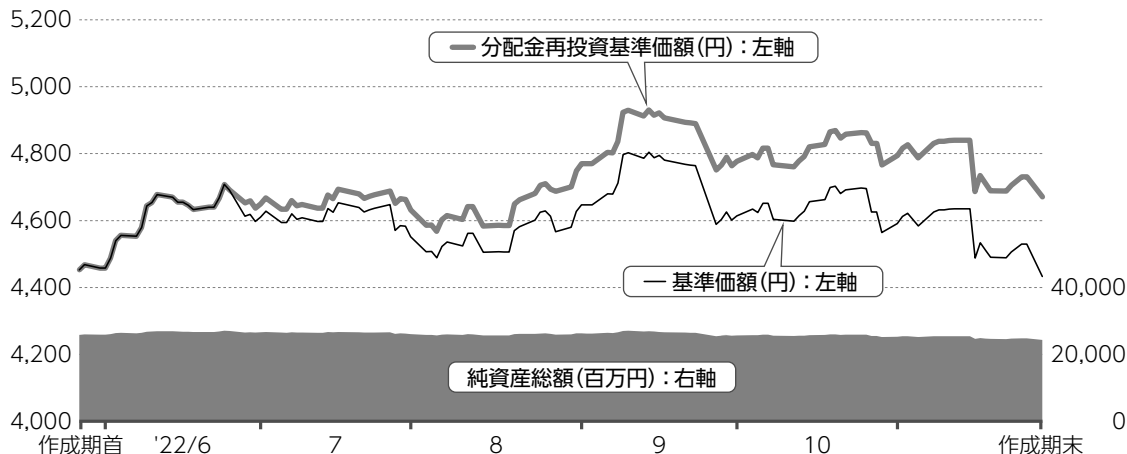
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第121期	(期 首) 2022年5月26日	円 4,453	% -	% 97.2
	5月末	4,458	0.1	97.1
	(期 末) 2022年6月27日	4,653	4.5	95.9
第122期	(期 首) 2022年6月27日	4,613	-	95.9
	6月末	4,610	△0.1	96.1
	(期 末) 2022年7月26日	4,611	△0.0	96.9
第123期	(期 首) 2022年7月26日	4,571	-	96.9
	7月末	4,552	△0.4	96.8
	(期 末) 2022年8月26日	4,607	0.8	95.8
第124期	(期 首) 2022年8月26日	4,567	-	95.8
	8月末	4,647	1.8	96.0
	(期 末) 2022年9月26日	4,629	1.4	96.1
第125期	(期 首) 2022年9月26日	4,589	-	96.1
	9月末	4,614	0.5	96.4
	(期 末) 2022年10月26日	4,666	1.7	96.3
第126期	(期 首) 2022年10月26日	4,626	-	96.3
	10月末	4,591	△0.8	96.3
	(期 末) 2022年11月28日	4,473	△3.3	96.7

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2022年5月27日から2022年11月28日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,453円
作成期末	4,433円 (当作成期既払分配金240円(税引前))
騰落率	+4.9% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

基準価額の主な変動要因（2022年5月27日から2022年11月28日まで）

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- インド国内におけるインフレ圧力が緩和したことに伴いRBI（インド準備銀行）による利上げ期待が後退し、期を通じてみれば、インドルピー建てインド債券の利回りが低下し、インドルピー建てインド債券市場が上昇したこと
- 期を通じてみれば、インドルピーが対円で上昇したこと

下落要因

- 米国の長期金利（10年国債利回り）の上昇（債券価格は下落）により、期を通じてみれば、米ドル建てインド債券の下落がマイナスに寄与したこと

投資環境について（2022年5月27日から2022年11月28日まで）

インドルピー建てインド債券市場は上昇した一方、米ドル建てインド債券市場は下落しました。為替市場では、インドルピーは円に対して上昇しました。

債券市場

インドルピー建てインド債券市場は上昇しました。インド国債利回りは低下（債券価格は上昇）し、クーポン収入を含めたトータルリターンはプラスとなりました。インド国債利回りは、5月のインドCPI（消費者物価指数）が前月を下回ったことからインド経済のインフレ懸念が後退し、6月から8月にかけて低下傾向が続きました。9月にはユーロ圏や英国においても大幅利上げが決定され、市場が織り込むターミナルレート（利上げ到達点）が一段と上昇したため世界的に長期金利が上昇した影響を受けて利回りは上昇しましたが、11月には再び低下し、期を通じて債券利回りは低下しました。

米ドル建てインド債券市場は下落しました。米国ではインフレ加速を受けて6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で0.75%の利上げが決定し、その後7月、9月、11月と4回連続で0.75%の利上げを実施したことから、米国債利回りは上昇しイールドカーブ（利回り曲線）の逆イールド化が進みました。

10月の米CPIが予想を下回ったことを受けて米国債利回りは低下に転じました。また社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。世界の主要中央銀行が急速な金融引き締めを実施し景気後退懸念が広がるなか、投資家のリスク回避姿勢が続き、スプレッドは拡大しました。

為替市場

インドルピーは期を通じてみれば対円で上昇しました。期初から10月にかけては米国が高インフレ抑制のため利上げペースを加速させた一方で、日本は金融緩和政策を維持したことや、欧州ではロシアが天然ガス供給を停止しエネルギー危機が発生したことから、主要通貨やインドルピーに対して米ドルが一段と上昇しました。10月の米CPIが市場予想を下回ったことで米国債利回りが低下すると米ドルは下落に転じ、対円を筆頭に主要通貨に対して弱含みとなりました。その結果、期を通じてインドルピー・円は、インドルピー高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2022年5月27日から2022年11月28日まで）

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド(クラスA)」を高位に組み入れることにより、運用を行いました。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

主に米ドル建てのインド社債に投資しました。また、実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行いました。期を通じて、満期までの期間が1年から3年までの債券のウェイトを50%超に引き上げ、期末のデュ

レーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)を約2.6年としました。

コタック・フレキシー・デット・ファンド (クラスA)

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。ポートフォリオのデュレーションを低位に維持し、期初に約1.3年としたデュレーションを期末には約2.0年程度としました。ポートフォリオの構成は引き続き国債、国営企業債、社債を中心とし、変動金利の国債のウェイトを一段と引き上げました。

ベンチマークとの差異について（2022年5月27日から2022年11月28日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

分配金について（2022年5月27日から2022年11月28日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	(0.86%)	(0.87%)	(0.87%)	(0.86%)	(0.86%)	(0.89%)
当期の収益	40	39	39	40	40	37
当期の収益以外	-	0	0	-	-	2
翌期繰越分配対象額	572	572	571	574	577	575

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド（クラスG）」および「コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）」の高位組入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。

K インディア・インカム・ファンド（クラスG）

米ドル建てのインドの社債については、F R B（米連邦準備制度理事会）が利上げペー

スの減速を表明し米国債利回りが安定化に向かっていることはポジティブに捉えています。米ドル建て債券をオーバーウェイトしているため、米国債利回りの低下はプラスに働きます。年末に向けて資産配分とリスクプロファイルは維持する方針です。ただし予期せぬインフレの上昇により、F R Bがターミナルレートを一段と引き上げ、長期間に渡って金融引き締めを継続する可能性は残っており、必要に応じて戦略を見直す方針です。また市場の変動が大きくなる場合に備えて、引き続き信用力の高い銘柄を中心に投資を行う方針です。

コタック・フレキシィー・デット・ファンド (クラスA)

RBIは市場予想通り12月に0.35%の利上げを実施しましたが、インドでも米国でもインフレ率は最近低下しており、追加利上げ観測は後退しています。米CPIが再び低下すれば、債券市場は今後数カ月間にわたって

回復する可能性がある一方で、予期せぬインフレ率の上昇は特に長期債利回りを再び上昇させる可能性があります。そのため現時点ではデュレーション・リスクの大幅な積み増しにはやや慎重なスタンスですが、必要に応じて12月の米CPI発表後に戦略を見直す方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

1万口当たりの費用明細（2022年5月27日から2022年11月28日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	26円	0.556%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は4,617円です。
（投信会社）	(7)	(0.148)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(18)	(0.392)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	26	0.559	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

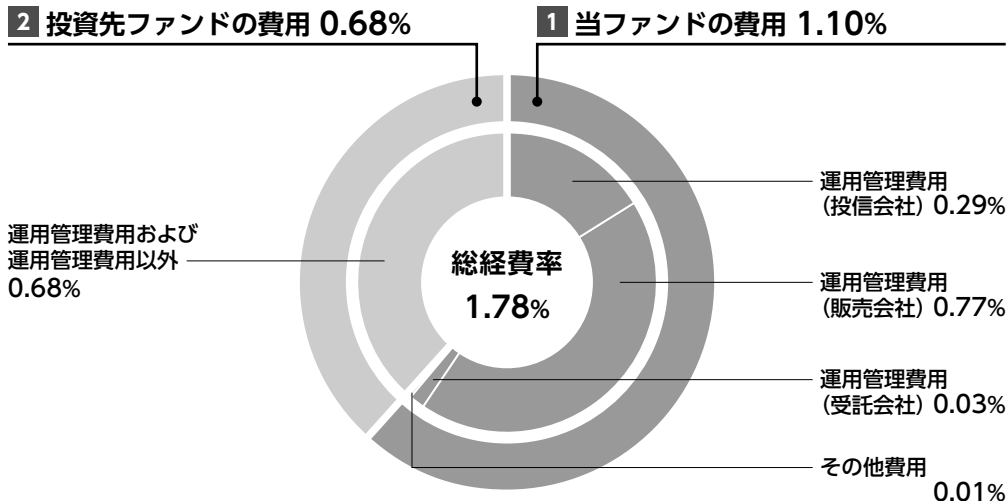
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	1.78%
1 当ファンドの費用の比率	1.10%
2 投資先ファンドの費用の比率	0.68%

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.78%です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2022年5月27日から2022年11月28日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	K インディア・インカム・ファンド（クラスG）	197,934	295,000	593,279	898,000
	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	559	10,000	52,525	972,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年5月27日から2022年11月28日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年5月27日から2022年11月28日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年11月28日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
K インディア・インカム・ファンド（クラスG）	12,102,671.478	11,707,327.039	16,487,503	67.8
コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	436,053.872	384,087.692	7,018,682	28.9
合 計	12,538,725.35	12,091,414.731	23,506,186	96.7

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 投資信託財産の構成

(2022年11月28日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	23,506,186	95.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,097,549	4.5
投 資 信 託 財 産 総 額	24,603,735	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年6月27日) (2022年7月26日) (2022年8月26日) (2022年9月26日) (2022年10月26日) (2022年11月28日)

項 目	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末	第125期末	第126期末
(A) 資 産	26,812,816,214円	26,502,341,739円	26,306,078,640円	25,808,960,523円	25,801,247,438円	24,603,735,502円
コール・ローン等	1,378,529,463	1,149,174,995	1,292,121,480	1,337,359,408	1,243,818,256	1,097,549,160
投資証券(評価額)	25,434,286,751	25,353,166,744	24,813,957,160	24,471,601,115	24,557,429,182	23,506,186,342
未 収 入 金	-	-	200,000,000	-	-	-
(B) 負 債	300,709,818	331,767,334	411,038,000	351,387,046	311,286,729	293,971,127
未払収益分配金	229,912,358	228,991,562	226,786,234	221,912,289	220,416,487	219,375,540
未払解約金	45,037,191	79,376,585	159,831,465	104,569,386	67,451,348	49,457,879
未払信託報酬	25,610,187	23,246,238	24,270,314	24,752,813	23,268,405	24,984,817
その他未払費用	150,082	152,949	149,987	152,558	150,489	152,891
(C) 純資産総額(A-B)	26,512,106,396	26,170,574,405	25,895,040,640	25,457,573,477	25,489,960,709	24,309,764,375
元 本	57,478,089,685	57,247,890,649	56,696,558,541	55,478,072,491	55,104,121,760	54,843,885,171
次期繰越損益金	△30,965,983,289	△31,077,316,244	△30,801,517,901	△30,020,499,014	△29,614,161,051	△30,534,120,796
(D) 受益権総口数	57,478,089,685口	57,247,890,649口	56,696,558,541口	55,478,072,491口	55,104,121,760口	54,843,885,171口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,613円	4,571円	4,567円	4,589円	4,626円	4,433円

※当作成期における作成期首元本額58,009,035,267円、作成期中追加設定元本額2,445,899,108円、作成期中一部解約元本額5,611,049,240円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 損益の状況

(自2022年5月27日 至2022年6月27日) (自2022年6月28日 至2022年7月26日) (自2022年7月27日 至2022年8月26日) (自2022年8月27日 至2022年9月26日) (自2022年9月27日 至2022年10月26日) (自2022年10月27日 至2022年11月28日)

項 目	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
(A) 配 当 等 取 益	249,101,382円	250,991,482円	247,862,423円	255,899,497円	245,218,465円	233,397,896円
受 取 配 当 金	249,145,234	251,009,976	247,875,887	255,956,447	245,266,471	233,460,467
受 取 利 息	1,871	4,103	948	565	3,458	1,233
支 払 利 息	△ 45,723	△ 22,597	△ 14,412	△ 57,515	△ 51,464	△ 63,804
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	919,434,125	△ 234,158,440	△ 19,987,638	105,354,204	201,480,481	△ 1,046,721,936
売 買 損 益	932,668,844	7,753,858	85,315,314	227,509,420	221,942,622	4,558,273
売 買 損 益	△ 13,234,719	△ 241,912,298	△ 105,302,952	△ 122,155,216	△ 20,462,141	△ 1,051,280,209
(C) 信 託 報 酬 等	△ 25,762,381	△ 23,401,121	△ 24,421,774	△ 24,908,247	△ 23,421,078	△ 25,140,253
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,142,773,126	△ 6,568,079	203,453,011	336,345,454	423,277,868	△ 838,464,293
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△11,066,028,748	△10,027,964,631	△10,097,626,956	△ 9,831,904,838	△ 9,590,372,250	△ 9,277,265,527
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△20,812,815,309	△20,813,791,972	△20,680,557,722	△20,303,027,341	△20,226,650,182	△20,199,015,436
(配当等相当額)	(3,270,102,258)	(3,257,458,142)	(3,226,480,417)	(3,157,346,880)	(3,136,465,569)	(3,122,460,585)
(売買損益相当額)	(△24,082,917,567)	(△24,071,250,114)	(△23,907,038,139)	(△23,460,374,221)	(△23,363,115,751)	(△23,321,476,021)
(G) 合 計 (D + E + F)	△30,736,070,931	△30,848,324,682	△30,574,731,667	△29,798,586,725	△29,393,744,564	△30,314,745,256
(H) 収 益 分 配 金	△ 229,912,358	△ 228,991,562	△ 226,786,234	△ 221,912,289	△ 220,416,487	△ 219,375,540
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△30,965,983,289	△31,077,316,244	△30,801,517,901	△30,020,499,014	△29,614,161,051	△30,534,120,796
追 加 信 託 差 損 益 金	△20,812,815,309	△20,813,791,972	△20,680,557,722	△20,303,027,341	△20,226,650,182	△20,199,015,436
(配当等相当額)	(3,270,102,258)	(3,257,458,142)	(3,226,480,417)	(3,157,346,880)	(3,136,465,569)	(3,122,460,585)
(売買損益相当額)	(△24,082,917,567)	(△24,071,250,114)	(△23,907,038,139)	(△23,460,374,221)	(△23,363,115,751)	(△23,321,476,021)
分 配 準 備 積 立 金	21,461,932	19,796,075	16,130,511	32,012,028	43,537,135	31,907,945
繰 越 損 益 金	△10,174,629,912	△10,283,320,347	△10,137,090,690	△ 9,749,483,701	△ 9,431,048,004	△10,367,013,305

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
(a) 経費控除後の配当等収益	243,608,842円	227,590,361円	223,440,649円	238,254,495円	232,360,293円	208,257,643円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	3,270,102,258	3,257,458,142	3,226,480,417	3,157,346,880	3,136,465,569	3,122,460,585
(d) 分配準備積立金	7,765,448	21,197,276	19,476,096	15,669,822	31,593,329	43,025,842
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,521,476,548	3,506,245,779	3,469,397,162	3,411,271,197	3,400,419,191	3,373,744,070
1万口当たり当期分配対象額	612.66	612.47	611.92	614.89	617.09	615.15
(f) 分配金	229,912,358	228,991,562	226,786,234	221,912,289	220,416,487	219,375,540
1万口当たり分配金	40	40	40	40	40	40

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資は純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、上記の料率の一部には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2020年10月1日から2021年9月30日)

(単位：米ドル)

投資収益	
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る受取利息	9,496,284
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純利益	15,115,880
デリバティブに係る純損失	(2,081,647)
	22,530,517
費用	
管理事務代行報酬	20,000
運用報酬	1,548,544
保管報酬	39,871
専門家報酬	15,369
その他費用	41,377
監査報酬	13,500
調整費用	600
為替差損	246,151
取締役報酬	4,000
	1,929,412
	20,601,105
金融費用控除前純投資収益	
金融費用	
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	(38,659,225)
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(18,058,120)

■ 組入上位銘柄

(基準日：2021年9月29日)

	銘柄名	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1	NTPC 3.75% 03/04/2024	USD	3.750%	2024/4/3	7.29%
2	Indian Railway Finance 3.249% 13/02/2030	USD	3.249%	2030/2/13	6.53%
3	ONGC 3.75% 27/07/2026	USD	3.750%	2026/7/27	5.85%
4	Indian Oil Corp 4.75% 16/01/2024	USD	4.750%	2024/1/16	5.62%
5	Canara Bank 3.875% 28/03/2024	USD	3.875%	2024/3/28	5.38%
6	Abja Investments 5.95% 31/07/2024	USD	5.950%	2024/7/31	4.97%
7	Hindustan Petroleum Corp 4.00% 12/07/2027	USD	4.000%	2027/7/12	3.93%
8	OIL India 4.00% 21/04/2027	USD	4.000%	2027/4/21	3.89%
9	Muthoot Finance 4.40% 02/09/2023	USD	4.400%	2023/9/2	3.88%
10	Indusind Bank 3.875% 15/04/2022	USD	3.875%	2022/4/15	3.28%
	全銘柄数			39銘柄	

※比率は純資産総額に対する割合

インド債券ファンド（毎月分配型）

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシシー・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資は純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、上記の料率の一部には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシシー・デット・ファンド（クラスA）」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日)

(単位：米ドル)

投資収益

損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる純損失	(1, 163, 843)
為替にかかる純未実現損失	(17, 575)
利息収入	2, 630, 174
	1, 448, 756

費用

投資運用報酬及び保管報酬	273, 345
その他の営業費用	33, 612
管理事務代行報酬	20, 000
監査報酬	13, 000
専門家報酬	18, 201
規制手数料	8, 360
営業費用合計	366, 518

税引前利益

所得税控除	1, 082, 238
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増加額	58, 572
	1, 140, 810

■ 組入上位銘柄

(基準日：2022年3月31日)

	銘柄名	通貨	利率	償還日	比率
1	4.70% FRB GOI 22/09/2033	INR	5.53%	2033/9/22	43.0%
2	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 31/12/2022	INR	7.82%	2022/12/31	16.1%
3	7.82% Jammu Udhampur Highway SP 30/06/2022	INR	7.82%	2022/6/30	15.9%
4	6.67% GOI 15/12/2035	INR	6.67%	2035/12/15	14.1%
5	5.15% GOI 09/11/2025	INR	5.15%	2025/11/9	5.1%
6	7.23% Power Finance Corporation Limited (SR -155) 05/01/2027	INR	7.23%	2027/1/5	3.2%
7	9.46% Power Finance Corporation Limited (SR 76 B) 01/08/2026	INR	9.46%	2026/8/1	0.2%
8	9.45% Power Finance Corporation Limited (SR 77-B) 01/09/2026	INR	9.45%	2026/9/1	0.1%
	全銘柄数			8銘柄	

※比率は純資産総額に対する割合